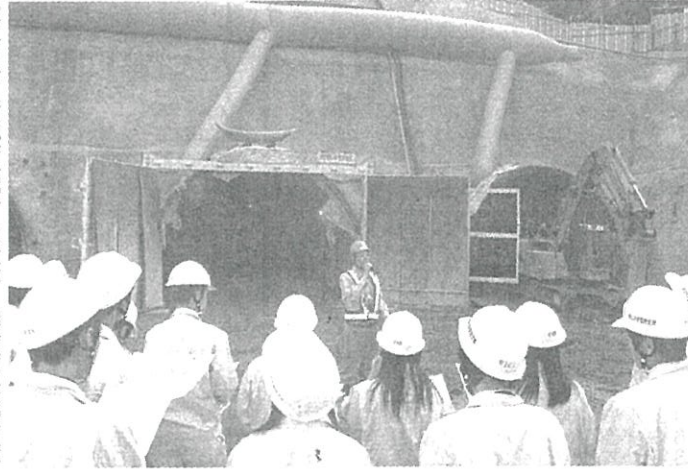


天ヶ瀬ダム減勢部、白虹橋

伏見工高生徒が現場見学

京都府建設業協会



減勢池部の現場を見学



説明する担当者
(ピーエス三菱)

放流設備を建設し、ダムの放流機能を高めることで洪水調節とダム湖の水をより効率的に使えるようにするのが目的。

トンネル式放流設備は、内径10・3m、計画放流量600m³/s(EL72・0m)、延長617m。入口の流入部(φ28m×深さ50m)、流水を下流に導くトンネルの導流部(トンネル径φ10・3m×339m)、放流量を調節するゲートがあるゲート室部(46m)、放流水の勢いを緩める減勢池部(トンネル径は幅23m、高さ26m、延長170m)、出口の吐口部(34m)の5つの施設で構成。水路トンネルとしては日本最大級のトンネル。

現場見学会には伏見工業高校生徒、同校引率教諭、京都府建設業協会など約50人が参加。大型バスに乗った見学隊は宇治市の天ヶ瀬

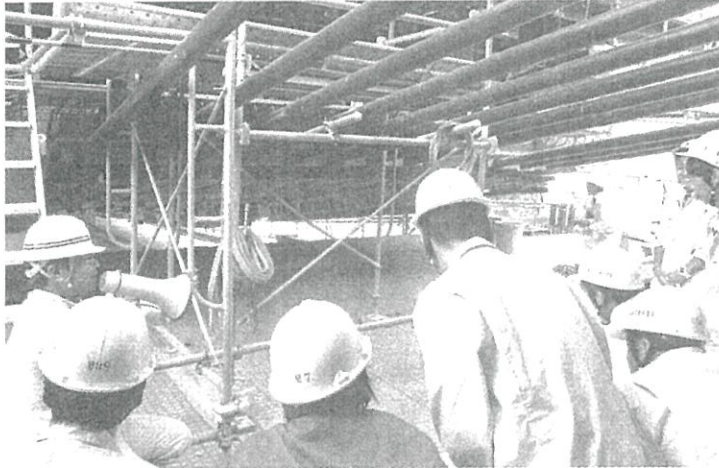
ダム付近の現場事務所にて午後1時20分に到着した。京都府建設業協会の北中孝幸労務経営委員会副委員長が協会を代表して挨拶し、「関西屈指の建設現場に足を踏み入れる機会。しっかりと見て聴いて学んでいただきたい」と伏見工業高校生徒を激励した。続いて辻野雅也近畿地方整備局琵琶湖河川事務所調査課建設専門官が天ヶ瀬ダム再開発事業の概要、その役割等を説明した。

見学隊は2班に分かれ、

帰路についた。

スカイワーク京都
高所作業車
レンタル
☎(075) 623-0050

トンネル放流設備減勢池部、白虹橋上部工架設工事を見学。減勢池部の現場では担当者が掘削方法、使用機械などのほか、情報化施工で24時間自動計測していること、安全祈願のため坑口上部に設置した化粧木について説明した。白虹橋の現場では担当者が日本でまだ5例目と施工実績が少ない自碇式PC吊床版橋(吊床版架設工法を用いたPC複合トラス橋)を採用したこと、周辺の風景に溶け込んだ意匠としたことなどを説明した。



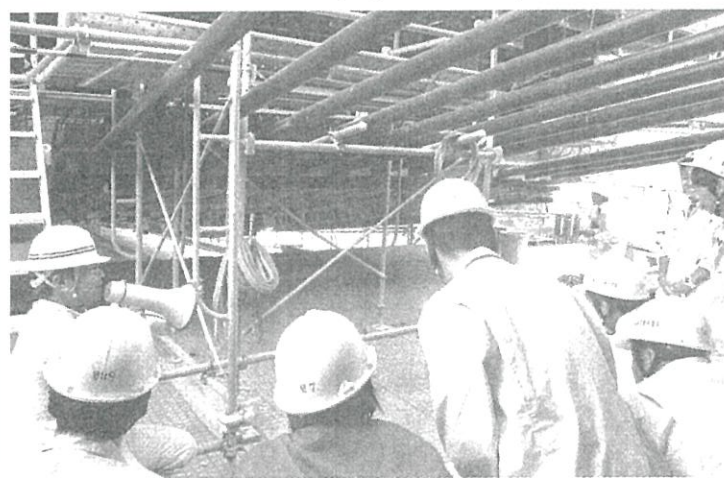
白虹橋の現場を見学

北中労務経営副委員長
(京建協)

辻野専門官
(近畿地整琵琶湖河川)



現場見学会には伏見工業高校生徒、同校引率教諭、京都府建設業協会など約50人が参加。大型バスに乗った見学隊は宇治市の天ヶ瀬



白虹橋の現場を見学

天ヶ瀬ダムで現場見学会 伏高生徒が最高技術学ぶ 減勢池部 白虹橋架替工事で

府建設業協会ら

（二社）京都府建設業協会（岡野益巳会長）は20日、近畿地方整備局の協力を得て伏見工業高校システム工学科の3年生を対象とした、天ヶ瀬ダム再開発事業の現場見学会を実施した。生

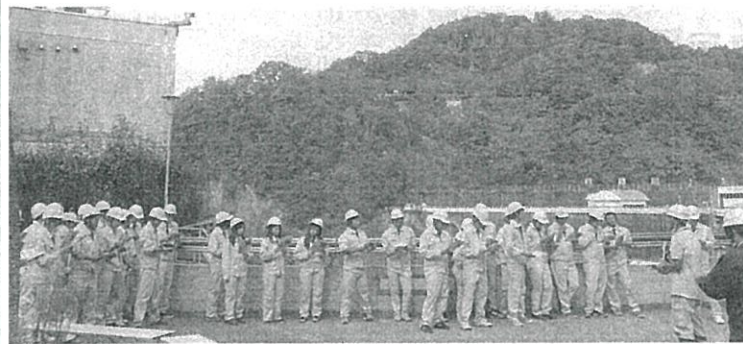
徒らを前に、同協会の北中孝幸事務経営委員会副委員長が開催趣旨を説明、「実際の土木工事の現場を体験することで、就職後の仕事にも活かしてほしい」とし、近畿地方整備局琵琶湖河川事務所の辻野雅也氏は、「この再開発事業は世界トップレベルの建設技術で施工を行って

いる。できる限り分かりやすく説明をさせていきたい」と意気込みを述べた。伏高生は初めに全体事業の概況説明を受けた後、2班に分かれ現場の見学に向かった。主に工事進捗が佳境に入っているトンネル式放流設備工事現場と白虹橋上部工架設工事現場で説明を聞いた。ともに工種として国内でもあまり類を見ない高度な技術を要する工事だ。

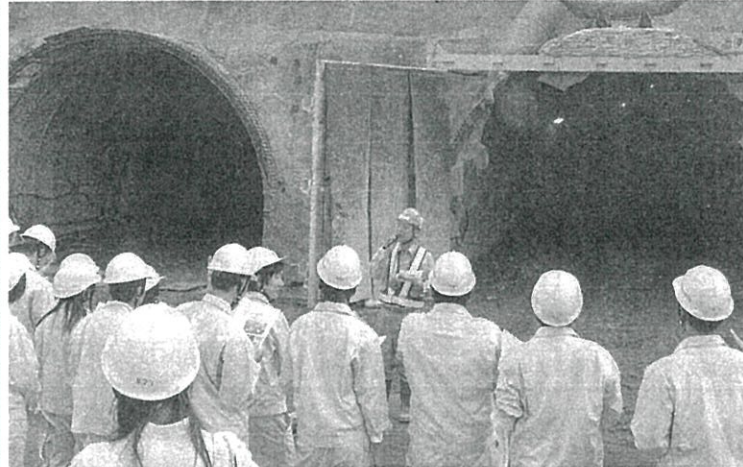
トンネル工事の方は、減勢池部の吐口トンネル前で、「下流の周辺環境に配慮し、水の勢いを緩めるための施設（W23m、H26m）をトンネル内に配置した。水理模型実験で効果を確認できている。国内でのこの工法を採用しているのは、愛媛県の鹿野川ダムと天ヶ瀬ダムだけ」など現場担当者から説明を受けた。

白虹橋についても、「多くの方々の意見を取り入れ、珍しい自碇式鋼・コンクリート複合トラス構造を採用した。通常の吊床版橋はグラウ

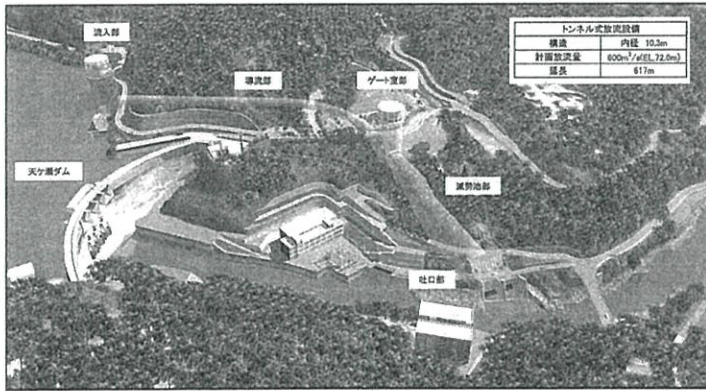
ンドアンカーにより橋体の荷重バランスをとるが、この工法はPC鋼材（1次ケーブル）上で橋体を構築し、橋体完成後は1次ケーブルから切り離し自碇構造とするところに特徴がある」などと説明を受けた。



ダム本体前で事業の概況説明を受ける生徒達



減勢池部トンネル前



トンネル式放流設備	
構造	内径 10.3m
貯留放流量	800m ³ /s(EL.72.0m)
延長	617m

再開発事業の全体概要